

2019年度

# 事業報告書

自 2019年4月 1日  
至 2020年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

# 目次

I 公益事業.....	3
【事業の趣旨】 .....	3
【施設の概要】 .....	3
【事業の概要】 .....	3
1. 展示活動.....	3
(1) 特別展・企画展.....	3
(2) 日本庭園.....	5
(3) ミュージアムショップ.....	5
(4) 喫茶店.....	6
2. 美術品の収集、保管及び修復.....	6
(1) 美術品の購入.....	6
(2) 美術品の保管・修復.....	6
(3) 美術品の寄贈受入.....	7
(4) 美術品の寄託受入.....	7
3. 調査研究.....	7
(1) 調査・研究.....	7
(2) データベース.....	8
(3) 研究資料の整備.....	8
(4) 学術プロジェクトへの参加.....	8
(5) 美術品の閲覧.....	9
4. 教育普及.....	10
(1) 催事.....	10
(2) インターネットによる広報.....	12
(3) プレスリリース.....	13
(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット.....	13
(5) 内覧会・レセプション.....	13
(6) 施設案内パンフレット.....	13
(7) 他美術館との協力.....	14
(8) 地域との連携.....	14
(9) 有料広告.....	14
(10) 根津倶楽部.....	15
(11) NEZUNET.....	15
(12) 青山茶会.....	15
(13) 美術品の館外貸出.....	16
(14) 画像の貸出.....	18
(15) 施設の貸与.....	18

II	収益事業.....	19
	【事業の概要】 .....	19
	1. 不動産事業.....	19
III	庶務の概要.....	20
	1. 役員.....	20
	2. 職員.....	21
	3. 役員会.....	22
	(1) 理事会.....	22
	(2) 評議員会.....	25
IV	事業報告の附属明細書.....	25

# I 公益事業

## 【事業の趣旨】

1940年（昭和15年）11月、初代根津嘉一郎（1860～1940）の遺志により財団法人を設立、翌年10月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

今年度もその理念に基づき、特別展3回と所蔵美術品による企画展4回を開催し、展覧会に関連した講演会、会員向けプログラム、施設を利用した催事などを実施した。

所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を館内外での発表や、紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力などを行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、修復などによる美術品の維持・管理に努めた。

## 【施設の概要】

2009年（平成21年）10月に新創開館した本館は地上2階（展示室1～6など）、地下1階（講堂など）。1990年に建設した展示施設を2007年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上2階、地下1階からなる。2009年度に地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館2階屋根上の252枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用に努めている。

2019年度には、新創開館後10年目を迎え、建物の経年劣化への対応及び東京オリンピック開催に伴う来館者数の増加に備えるため、建物の大規模修繕、並びに池のヘドロの浚渫を含む日本庭園の整備を行った。また、書類資料の保管スペース対応のため、茅場町日殖ビルの6階を借り受けた。

日本庭園には、薬師堂および茶室4棟があり、各所に石造物約150件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

## 【事業の概要】

### 1. 展示活動

#### （1）特別展・企画展

美術館の開館時間は、午前10時から午後5時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始、および、台風19号と新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館期間（計28日間）を除く毎日開館した。また、特別展「尾形光琳の燕子花図 一寿ぎの江戸絵画」会期中の5月8日から5月12日までの開催日5日間は、午後7時まで開館時間を延長した。

入館料は、特別展の場合一般1,300円、学生1,000円、企画展では一般1,100円、学生800円とし、いずれも中学生以下は無料とした。20名以上の団体、障害者手帳提示者と同伴1名及び運転経歴証明書提示者へは1名につき200円の割引を行い、また200円割引料金の次回展の前売券を美術館内で販売した。さらに、会員証の提示で、ICOM（国際博物館会議）は会員本人、日本博物館協会は会員本人と同伴者1名を無料とした。

2019年度は、開館日数計210日間に、来館者253,352名（うち有料来館232,522名）を迎えた。

1階展示室1・2では、下記の7回の特別展及び企画展を開催し、同時に、展示室2あるいは5では、特別展・企画展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室6では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

また、ホール～展示室3「仏教美術の魅力」では、展示室3に木彫仏（地藏菩薩像3軀、1月から憤怒像2軀・瞋目像1軀に展示替え）を展示した。

展示室4「古代中国の青銅器」は2013年度より、展示作品の一部にテーマ性のある展示を行っており、今年度は「古代の吉祥文」、5月25日から「花の形をした鏡」のテーマで中国の鏡を展示した。

特別展は当館の所蔵美術品のみならず館外から借用する美術品も含めて構成し、企画展は所蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品などの作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録、関連する所蔵品図録などの作成を行った。また、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。また、外部業者に委託して、館内巡回の徹底と、来館者対応を補完し、快適な鑑賞環境の向上に努めた。

- ・特別展「尾形光琳の燕子花図 ー寿ぎの江戸絵画ー」 展示室1・2  
2019年4月13日(土)～5月12日(日) 展示日数27日間  
同時開催「机上を彩る箱」 展示室5  
「風薫る茶席」 展示室6  
入館者 73,529名(有料 68,481名)
- ・企画展「はじめての古美術鑑賞 ー絵画のテーマー」 展示室1・2  
2019年5月25日(土)～7月7日(日) 展示日数38日間  
同時開催「茶席の書画」 展示室5  
「雨中の茶の湯」 展示室6  
入館者 37,030名(有料 34,121名)
- ・企画展「優しいほとけ・怖いほとけ」 展示室1・2  
2019年7月25日(木)～8月25日(日) 展示日数28日間  
同時開催「鍋島の小品」 展示室5  
「納涼の茶」 展示室6  
入館者 29,086名(有料 26,169名)
- ・新創開館10周年記念 企画展「美しきいのち ー日本・東洋の花鳥表現ー」 展示室1・2  
2019年9月7日(土)～11月4日(月・祝) 展示日数49日間(臨時休館2日)  
同時開催「刀装具 ー驚きのわざー」 展示室5  
「夜長月の茶」 展示室6  
入館者 45,401名(有料 42,290名)
- ・特別展「江戸の茶の湯 ー川上不白生誕三百年ー」 展示室1・2  
2019年11月16日(土)～12月23日(月) 展示日数33日間  
同時開催「平治物語画帖 ー知っておきたい名場面ー」 展示室5  
「口切の茶事」 展示室6  
入館者 37,374名(有料 34,217名)
- ・企画展「〈対〉で見る絵画」 展示室1・2  
2020年1月9日(木)～2月11日(火・祝) 展示日数29日間  
同時開催「百椿図 ー子年にちなんでー」 展示室5  
「初月の茶会」 展示室6  
入館者 26,814名(有料 23,675名)
- ・特別展「虎屋のおひなさま」 展示室1・2  
2020年2月22日(土)～3月29日(日) 展示日数6日間(臨時休館26日)  
同時開催「宮廷の雅 ー古筆切と和歌ー」 展示室5  
「花時の茶事」 展示室6  
入館者 4,118名(有料 3,569名)

なお、近年外国人入館者の割合が増えている。過去五年間の年間平均の推移は以下の通り。

2015年度	10.9%
2016年度	15.9%
2017年度	23.7%
2018年度	26.1%
2019年度	27.3%

また、例年の通り国内外の要人を多数お迎えしたが、特に即位の礼の際には、スウェーデン、英国の王室メンバーをはじめとする要人方に、展示と庭園散策をお楽しみいただいた。

## (2) 日本庭園

17,000平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ4棟の茶室や点在する約150件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。本年度は、樹木の剪定・枯枝の除去、散策路の整備等を意欲的に行い、来館者の安全安心を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。

また2013年10月より、原則毎月木曜日に1棟ずつ、一般来館者向けの茶室見学会を開催している。但し、2019年4月は庭園内茶室にて呈茶事業を行うため、また2020年3月は新型コロナウイルス流行に伴う臨時休館のため、見学会は実施していない。

### [2019年]

5月30日(木)	弘仁亭・無事庵	74名
6月6日(木)	閑中庵・牛部屋	65名
7月4日(木)	斑鳩庵・清溪亭	57名
8月1日(木)	一樹庵・披錦斎	98名
9月26日(木)	弘仁亭・無事庵	56名
10月24日(木)	斑鳩庵・清溪亭	76名
11月28日(木)	一樹庵・披錦斎	85名
12月5日(木)	弘仁亭・無事庵	126名

### [2020年]

1月30日(木)	閑中庵・牛部屋	75名
2月27日(木)	斑鳩庵・清溪亭	76名

計 788名

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に加盟6年目。春と秋に発行される「東京いい庭キャンペーン」の冊子（日本語、英語）の掲載・配布協力のほか、定期会合を通じた意見交換などの活動に参加。昨年に続き、紅葉の時期には茶室周辺の茶庭の開放とTwitterフォトギャラリーを実施。昨年を上回る投稿があり、楽しみ方として定着した感が強い。

## (3) ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に合う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要などの書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般

書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

本年度、新たに製作したオリジナル商品は12品目32種。新しい品目としては、中国・清時代「秋草図巻」をモチーフにスカーフを作成。「江戸の茶の湯」展の時に、青銅器「双羊尊」の形を新たにデザイン化しお干菓子を作成。そして「百椿図」をモチーフに美しい小さな漆の器を工芸作家に作成して頂いた。

引き続き山梨市の根津記念館「ミュージアムショップ平等」に商品および出版物の販売を、また東京国立博物館に加え、京都国立博物館・九州国立博物館のミュージアムショップに出版物の販売を委託し、さらに所蔵美術品の貸出先のミュージアムショップには、展覧会の会期中絵葉書などのオリジナル商品の販売を委託した。

#### (4) 喫茶店

庭園内に設置されたNEZUCAFÉは、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行った。本年度も展覧会のテーマにちなんだ期間限定商品の開発を行い、話題性のある商品で販売促進に努めた。引き続き抹茶と展覧会テーマ、または季節にちなんだ和菓子のセットを提供した。特別展「尾形光琳の燕子花図―寿ぎの江戸絵画―」展期間中はカフェが混みあうため抹茶セットの提供は難しいと判断し、庭園内茶室で抹茶サービスを行った。27日間で6,509名(1日平均241名)が利用した。同じく、特別展「尾形光琳の燕子花図―寿ぎの江戸絵画―」展の夜間開館期間中に、午後5時からシャンパンを販売し、美術品の鑑賞と共に地の利を活かしたアフターファイブの新しい楽しみ方を提案した。食品や店内環境の衛生に万全を期すとともに、来館者の憩いや団らんのか場として落ち着いた雰囲気の中で庭園の自然を眺める空間を維持し、リピーターやファン層の獲得に努めた。

## 2. 美術品の収集、保管及び修復

### (1) 美術品の購入

本年度、下記の美術品(美術資料)を購入した。

提梁	1個
薄板	6枚
台目棚	1基
盆	3枚

### (2) 美術品の保管・修復

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

#### (展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対するモニタリング調査を、年間2回(5月14日～6月14日、9月19日～10月25日)実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防霉作業を、年間3回(7月9日～7月13日、12月25日～12月27日、2月13日～14日)行った。
- ③ 修理完了作品および虫害の可能性がある作品の被覆燻蒸施工を、年間3回(7月9日～7月13日、8月27日～29日、12月25日～12月27日)行った。
- ④ 壁付展示ケース及び移動ケースのメンテナンス作業(7月11日～12日)を行った。

- ⑤ 展示ケース内の環境を確認するため、パッシブインジケータを用いた酸・アルカリの濃度計測（8月23日～25日）を行った。
- ⑥ 文化庁の了承のもと、展示室4（青銅器展示室）の天井照明灯のLED化工事（7月12日）を行った。
- ⑦ 展示施設内の温湿度環境モニタリングのため、データロガー（温湿度測定・記録計）計24台のバッテリー交換およびサーバー機器のメンテナンスを、11月13日に行った。

（収蔵施設）

- ① 収蔵庫のカビや虫害に対するモニタリング調査を、年間2回（5月14日～6月14日、9月19日～10月25日）実施し、収蔵環境の監視を継続した。
- ② モニタリング調査の結果をもとに、大規模清掃を1回（11月27日）、除塵防黴作業を1回（3月26日～3月28日）実施した。
- ③ 収蔵庫内の温湿度環境モニタリングのため、11月27日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計15台のバッテリーを交換した。

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

- ① 国庫補助修理
 

重要文化財	紺紙銀字華嚴経卷第四十六(二月堂焼経)	1巻	半田九清堂
-------	---------------------	----	-------
- ② 自費修理
 

地藏地獄図	1幅	半田九清堂	
寒山拾得図	1幅	半田九清堂	
南江宗沅賛	1幅	半田九清堂	
大津馬図	1幅	半田九清堂	
(応急修理)			
玄宗皇帝弄笛図	1幅	半田九清堂	
(応急修理)			
鏡山図	1幅	半田九清堂	
(応急修理)			
古写経	ほかマッピング	57点	株式会社テラ
蓬萊蒔絵手箱	1合	目白漆芸	
色々威腹巻	1領	小沢正実	
愛染明王坐像	1軀	あきかわ造仏所	

（3）美術品の寄贈受入

本年度、美術品の寄贈はなかった。

（4）美術品の寄託受入

本年度、美術品の寄託はなかった。

3. 調査研究

（1）調査・研究

引き続き、所蔵美術品および展覧会に関わる調査・研究を行い、新たな知見を館内での講演会や館外での学会などで発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要、展覧会図録および所蔵品図録を出版した。

① 紀要

『根津美術館紀要 此君 第11号 特集 新・桃山の茶陶』

2020年3月30日発行

800部

② 展覧会図録



	『江戸の茶の湯 ー川上不自生誕三百年ー』	2019年11月16日発行	5,000部
	『虎屋のおひなさま』	2020年2月22日発行	4,000部
③	コレクション図録		
	『鑑賞シリーズ10 殷周の青銅器』第2刷	2019年8月29日発行	2,000部
	『琳派コレクション』第4刷	2019年8月29日発行	3,000部
	『平家物語画帖』第2刷	2019年8月28日発行	2,000部
④	その他		
	『青山緑水』第2刷	2019年12月6日発行	4,000部

## (2) データベース

2009年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。アルバイトを通年で2名雇用し、下記の作業を行った。

- ① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、やはり前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。
- ② 新規撮影したデジタル画像およびポジフィルムの高精細デジタル画像の登録を、引き続き行った。

## (3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。アルバイト2名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、国内外の図録の曝書（蔵書点検）と、データの見直し及び修正を終了した。また、和装本のリスト修正、発掘報告書の分類の見直しを行った。
- ② 本年度に刊行した図録および紀要を、国内241機関に贈呈し、また美術館・博物館など243機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書など851冊を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、217冊の図書・雑誌を購入した。

## (4) 学術プロジェクトへの参加

・学術研究誌および単行本上に、下記の通り、当館学芸員が研究成果を発表した。

- 野口 剛 「円山応挙の中国絵画受容とその特質」『國華』1484号
- 本田 諭 「新出の個人蔵〈足利尊氏像〉について」江田郁夫編『中世宇都宮氏 一族の展開と信仰・文芸』（戎光祥中世史論集第9巻）、戎光祥出版
- 「館蔵品研究 絹本着色 稚児大師像」『根津美術館研究紀要 此君』第11号
- 白原由起子 「〈釈迦三尊十六羅漢像〉攷」韓國佛教美術史學會（韓國美術史研究所）編『講座美術史』53号
- 「根津美術館蔵 青銅製銀入絲香垵」東岳美術史学会編『東岳美術史學』第26号
- 下村奈穂子 「十六・十七世紀の瀬戸・美濃窯の焼き締め茶陶」『根津美術館研究紀要 此君』第11号

・館外の研究・教育機関の依頼により、下記の通り当館学芸員が講演を行った。

- 松原 茂 文化庁 第11回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー 演題「平常陳

列の活性化と調査研究：美術系 ―根津美術館の場合―

白原由起子 国際基督教大学博物館資料論講座 演題「コレクションの形成：アメリカと日本の事情」

永田智世 会津塗技術保存会 演題「時代から読み取る漆工芸品のデザイン」

- ・文部科学省および各教育委員会などの要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の指定、保存、国家補償、国際文化交流に関わる会議に委員として参画した。

西田宏子 佐賀県文化財保護審議会

本田 諭 足利市文化財専門委員会

宇都宮市文化財保護審議委員会

佐貫石仏保存管理活用検討委員会

白原由起子 文化庁文化審議会（美術品補償制度部会）専門調査会

ICOM 京都大会 2019 運営委員会

日米文化教育交流会議（CULCON）美術対話委員会

ミュージアム日本美術専門家連携・交流事業実行委員会

永田智世 文化庁 令和元年度無形文化財「わざ」の理解促進事業に係る工芸技術記録映画製作監修委員会

- ・独立行政法人および公私立の博物館・美術館の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の購入・修理、館の運営などに関わる会議に委員および委嘱者として参画した。

松原 茂 三の丸尚蔵館管理運営懇談会

千葉県美術品等収集審査会

東京国立博物館有形文化財買取協議会（常任委員）

野口 剛 九州国立博物館買取評価

本田 諭 栃木県立博物館 資料評価

東京国立博物館有形文化財価格評価

永田智世 遠山記念館 所蔵品評価

- ・文化庁、独立行政法人、公私立の博物館・美術館および研究者の要請により、下記の通り、当館学芸員が、学術研究に参画した。

松原 茂 東京国立博物館 法隆寺献納宝物に関する調査

本田 諭 栃木県立博物館 調査研究協力

科学研究費助成事業「狩猟風俗から見直す〈和漢〉の境界の再構成」（研究代表：水野裕史）調査協力

永田智世 文化庁文化財第一課 非常勤調査員

#### （5）美術品の閲覧

所蔵美術品の閲覧申請を受け、研究の目的や学術的成果が期待でき、且つ作品が安全な状態であることを確認のうえ、以下 20 件の研究に協力した。

閲覧日	所属	閲覧作品
[2019年]		
4月27日	韓国美術史研究所（5名）	重要文化財「阿弥陀如来坐像」 他2件

5月17日	常磐山文庫 (2名)	重要文化財「青磁筍花生」	他2件
6月19日	大阪市立美術館 (2名)	「墨梅図」李方膺筆	
6月19日	山種美術館 (1名)	「曾我物語図屏風」	
6月21日	プリンストン大学 (5名)	国宝「鶉図」伝李安忠筆	他2件
6月24日	京都府立京都学・歴彩館 (2名)	「洛中洛外図屏風」	
7月11日	名古屋市博物館 (1名)	「伊勢参宮図屏風」	
7月4日	刀剣博物館 (2名)	「短刀 城州埋忠 天正十八年紀」	他2件
7月5日	五島美術館 (1名)	「青花花籠文鉢 大明天啓年製銘」	
7月10日	国文学研究資料館 (2名)	「築島」	他1件
7月25日	東北大学 (4名)	重要文化財「釈迦如来・阿難像」	他1件
7月26日	龍谷大学 (2名)	重要文化財「釈迦如来・阿難像」	他2件
8月15日	お茶の水女子大学 (2名)	「蛙草紙絵巻」	
9月25日	京都造形芸術大学 (3名)	「善導寺型石灯籠」	
10月8日	江戸東京博物館 (2名)	「群盲評象鐔」府川一則作	他1件
11月13日	林京子氏 (2名)	「地藏菩薩靈驗記絵巻」	
[2020年]			
1月18日	東京国立博物館 (3名)	「白茶地市松孔雀唐草模様唐織」	他19件
1月30日	三井記念美術館 (1名)	「秋野蒔絵棗」	他1件
2月27日	徳川美術館 (1名)	重要文化財「龍巖徳真墨蹟 偈」	
		計19件	閲覧者43名 作品総数52件

#### 4. 教育普及

##### (1) 催事

引き続き、各展覧会に関連して、館内外の講師による講演会を講堂で開催した(参加費無料、定員130名)。また、担当学芸員が、講堂にてスライドレクチャーを随時実施した。

[2019年]

##### ・特別展「尾形光琳の燕子花図 ー寿ぎの江戸絵画ー」

講演会：4月20日(土)

奥平俊六氏(大阪大学 名誉教授)

「燕子花図と洛中洛外図」

聴講 118名

講演会：4月27日(土)

野口 剛(当館 学芸部次長)

「旅する屏風 ーお伊勢参りは道中も楽しー」

聴講 108名

モーニングレクチャー：4月16日(火) 野口剛「尾形光琳の燕子花図」

聴講 142名

4月26日(金) 野口剛「尾形光琳の燕子花図」

聴講 140名

イブニングレクチャー：5月8日(火) 野口剛「尾形光琳の燕子花図」

聴講 260名

(2回実施)

##### ・企画展「はじめての古美術鑑賞 ー画題を知るー」

講演会：6月15日(土)

島尾新氏(学習院大学 教授)

「絵画のテーマを読み解く」

聴講 110名

スライドレクチャー：6月7日(金) 本田諭「日本絵画のテーマを知る」

聴講 106名

6月21日(金) 本田諭「日本絵画のテーマを知る」

聴講 140名

- ・企画展「優しいほとけ・怖いほとけ」  
 講演会：8月17日（土）  
 高橋悠介氏（慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 准教授）  
 「愛染明王の信仰と造形」 聴講 148名  
 スライドレクチャー：8月2日（金）白原由起子「優しいほとけ・怖いほとけ」 聴講 142名  
 8月23日（金）白原由起子「優しいほとけ・怖いほとけ」 聴講 233名  
 （2回実施）
- ・新創開館10周年記念 企画展「美しきいのちー日本・東洋の花鳥表現ー」  
 講演会：10月5日（土）  
 宮崎法子氏（実践女子大学 教授）  
 「花鳥に寄せる思いとその表現」 聴講 124名  
 スライドレクチャー：9月13日（金）野口剛「美しきいのち」 聴講 69名  
 9月28日（金）野口剛「美しきいのち」 聴講 54名  
 10月11日（金）野口剛「美しきいのち」 聴講 64名  
 10月26日（金）野口剛「美しきいのち」 聴講 65名
- ・特別展「江戸の茶の湯ー川上不自生誕三百年ー」  
 講演会：12月8日（日）  
 熊倉功夫氏（MIHO MUSEUM 館長）  
 「不白の茶の湯」 聴講 130名  
 スライドレクチャー：11月22日（金）西田宏子「江戸の茶の湯」 聴講 140名  
 12月13日（金）西田宏子「江戸の茶の湯」 聴講 280名  
 （2回実施）

[2020年]

- ・企画展「〈対〉で見る絵画」  
 講演会：2月9日（土）  
 松原茂（当館 学芸部長）  
 「繋げる画面・較べる画面」 聴講 100名  
 スライドレクチャー：1月17日（金）松原茂「〈対〉で見る絵画」 聴講 100名  
 1月31日（金）松原茂「〈対〉で見る絵画」 聴講 141名
- ・企画展「虎屋のおひなさま」  
 講演会：3月14日（土）  
 林直輝氏（日本人形文化研究所 所長）  
 「虎屋の雛と雛道具」 ⇒中止（コロナウイルス感染拡大防止のため）  
 スライドレクチャー：3月6日（金）永田智世「虎屋のおひなさまを楽しむ」  
 3月20日（金）永田智世「虎屋のおひなさまを楽しむ」  
 ⇒中止（コロナウイルス感染拡大防止のため）

加えて、本年度は、特別企画として以下の催事を実施した。

【無料】

- ・舞囃子「百萬」：5月9日（木） 於1階ホール  
 観世鍔之丞師（能楽師） 参加者約250名
- ・七夕飾り：6月25日（火）～7月7日（日） 参加者約200名
- ・落語を聞く会：6月29日（土）

立川談慶氏（落語家）

参加者 125 名

・茶室でたのしむ椿のころー「百椿図」に寄せてー：1月24日（金）～26日（日）於弘仁亭

いけばな草月流 勅使河原 茜 家元

参加者 1,270 名

【有料】

・「茶杓をけずってみよう」：8月24日（土）

講師：池田泰輔氏（竹楽会講師・竹芸家）

定員 40 名 参加費 8,000 円（18 歳以上）

申込者 40 名、参加者 40 名

・「現代茶人の茶席」：於披錦斎

9月12日（木） 井田純一郎氏（サンヨー食品株式会社 代表取締役社長）

9月22日（日） 内山高一氏（フジテック株式会社 代表取締役社長）

10月31日（木） 筒井紘一氏（茶道資料会館 顧問）

各日定員 90 名（15 名×6 席） 参加費 5,000 円 申込者 270 名、総参加者 269 名

・「麗しのコサージュ」：10月19日（土）

講師：岡田歩氏（造形作家）

定員 20 名 参加費 10,000 円（中学生以上）

申込者 20 名、参加者 20 名

・「江戸の茶の湯」展 記念茶会：於弘仁亭

11月20日（水） 岡田宗正氏

11月23日（土・祝） 川上宗雪氏

11月30日（土） 川上不白氏

12月4日（水） 川上宗順氏

12月11日（水） 小川宗洋氏

各日定員 100 名（20 名×5 席） 参加費 5,000 円 申込者 500 名、参加者 487 名

・「根津青山をしのんで 一没後八十年追善茶会」：2月6日（木） 於弘仁亭・披錦斎

定員 50 名（10 名×5 席） 参加費 15,000 円

申込者 50 名、参加者 50 名

・「蒔絵に挑戦！」：2月6日（木） 於弘仁亭・披錦斎

定員 20 名（20 名×2 回） 参加費 7,000 円 申込者 40 名

⇒中止（コロナウイルス感染拡大防止のため）

・「はじめての茶席 一花どきを楽しむ」：3月19日（木） 於披錦斎

定員 90 名（15 名×9 回） 参加費 2,200 円

⇒中止（コロナウイルス感染拡大防止のため）

（2）インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設などの情報発信窓口である当館ウェブサイト (<http://www.nezu-muse.or.jp>) は目下、日本語版と英語版をそれぞれ PC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。年間の閲覧回数は 1,356,000 アクセス（月平均 113,000 アクセス）、ユーザー数は 922,936 名（月平均 76,911 名）を数えるが、ユーザーのうち約 15%が日本語以外の言語環境、また約 8%が日本以外の地域からアクセスしている。なお、約 77 パーセントのユーザーが、スマートフォンもしくはタブレット端末で閲覧している。

ウェブサイトには次ぐ情報発信ツールとして利用している Facebook のフォロワー数は期初の約 35,000 名から、約 37,000 名に増加した。Twitter でのフォロワー数も期初の約 31,000 名から約 32,000 名となった。

### (3) プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用し、展覧会のコンセプトを一貫したイメージで訴求できるように、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を行っている。また同時に、ミュージアムショップやカフェの新商品などの告知リリースも配信し、多様なメディアに掲載されることを促し、それによる美術館・展覧会の認知度向上に引き続き努めた。さらに国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に努めた。

### (4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商などに展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動を行い、さらに、外国人集客に力を入れている東京都や観光庁の旅行案内所、都内主要ホテルへのチラシの定期提供ルートも引き続き開拓した。

### (5) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日（年度内7回）に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。この記者内覧会に加え、2019年度は2回の特別展に際し、美術関係の招待客を対象に特別内覧会及びレセプションも実施し、業界関係者や教育者などを通じての宣伝や誘客を図った。

・特別展「尾形光琳の燕子花図―寿ぎの江戸絵画―」：4月12日（金）	記者内覧会	出席者 43名
・企画展「はじめての古美術鑑賞 ―絵画のテーマ―」：5月24日（土）	記者内覧会	出席者 54名
・企画展「優しいほとけ・怖いほとけ」：7月24日（水）	記者内覧会	出席者 52名
・新創開館10周年記念 企画展「美しきいのち―日本・東洋の花鳥表現―」：9月6日（金）	記者内覧会	出席者 50名
・特別展「江戸の茶の湯―川上不自生誕三百年―」：11月15日（金）	記者内覧会 特別内覧会	出席者 38名 出席者 458名
・企画展「対で見る絵画」：1月8日（水）	記者内覧会	出席者 47名
・特別展「虎屋のおひなさま」：2月21日（金）	記者内覧会 特別内覧会	出席者 45名 出席者 620名

### (6) 施設案内パンフレット

日本語・英語・仏語・中国語・韓国語のパンフレットを館内に常備している。また外部の観光案内施設などから要望がある場合も送付サービスを行っている。

#### (7) 他美術館との協力

- ・特別展「江戸の茶の湯―川上不自生誕三百年」(11/16-12/23)の会期中、三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「秋の三館 美をめぐる 2019」キャンペーンを実施した。これは、他館がキャンペーン対象とする秋季の展覧会の入館券の半券を持参した来館者の入館料の100円割引、さらに3館の対象展覧会の入館済み半券を持参した来館者をいずれか1館の次回展に無料招待するもので、2013年度より実施している。展覧会が集中する秋季での各館への誘客強化とともに、当館次回展への認知と誘客を狙うもので、このキャンペーンによる割引を利用した入館者は664名(総入館者数の1%超)、次回展「対で見る絵画」への招待入館者は224名であった。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

#### (8) 地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年2回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載し、読者への招待券プレゼント企画に協力した。
- ・9月13日に港区立青山生涯学習館で、根津美術館の紹介と企画展「美しきいのち―日本・東洋の花鳥表現―」の見どころについて担当学芸員が講演を行い、その後参加者が展覧会を見学した。
- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。
- ・近隣の港区立青南小学校3年生の「総合」学習の一環として、近隣施設見学授業への協力要請があり、6月に企画展「はじめての古美術鑑賞―絵画のテーマ―」見学に児童26名、引率教員1名を受け入れた。
- ・港区内の小学校に併設されている学童保育施設「放課Go!クラブ」の青南教室の児童の展示見学受け入れを、毎展覧会で実施。毎回1~4年生20名ほどが来館し、展覧会を鑑賞した。

#### (9) 有料広告

- ・開催6展覧会それぞれに1~2紙のクーポン付新聞広告(100円割引券付)を掲載した。
- 各展での掲出状況とクーポン利用者集計は以下の通り：

特別展「尾形光琳の燕子花図―寿ぎの江戸絵画―」

計2,484名(朝日朝刊・読売夕刊・日経夕刊)(3%)

企画展「はじめての古美術鑑賞―絵画のテーマ―」 計116名(朝日夕刊)(0.3%)

企画展「優しいほとけ・怖いほとけ」

計144名(朝日夕刊・日経夕刊)(0.5%)

新創開館10周年記念 企画展「美しきいのち―日本・東洋の花鳥表現―」

計137名(朝日朝刊・日経夕刊)(0.3%)

特別展「江戸の茶の湯―川上不自生誕三百年」

計960名(朝日夕刊・日経夕刊・読売夕刊)(3%)

企画展「対で見る絵画」

計99名(朝日夕刊)(0.4%)

特別展「虎屋のおひなさま」

計108名(朝日朝刊)(3%)

- ・本年度も引き続き、地下鉄・表参道駅のポスター(チラシ配布用ポケット付)掲示を、すべての展覧会において2週間ずつ実施した。これを通じ、駅利用者に毎回300枚~400枚程度のチラシを配布することができた。

(10) 根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009年に開始した会員組織であり、2012年7月の制度変更を経て2019年4月からより新たな制度に移行した。従来は入会金3,000円と年会費8,000円を頂き、1年毎に更新手続きを行なっていたが、更新の概念をなくし、年会費8,000円のみで1年間会員本人と同伴者の入館料無料、ミュージアムショップの1割引（一部商品を除く）の特典を提供している。この新制度内容が受け入れられ、2019年度末の会員数は907名（前年度末会員数658名：前年度末対比137%）と順調に推移している。

(11) NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」（会費無料）は、新創開館以来会員数が増え続け、2019年度は新たに981件のメールアドレス登録があり、年度末現在の会員数（メールアドレス登録件数）は8,019名となった。本年度は、台風19号と新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館等のお知らせを含め、15回メールマガジンを配信した。

(12) 青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、1会期5万5千円の会費で、年4回の茶会と4回の講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度である。

2019年度・第七期会員147名が在籍しており、下記の講座と茶会を開催した。また茶会の会に限り会員以外でも一名当たり2万円で参加ができる臨時券の販売を行った。下記茶会には臨時券での参加者を含んでいる。

尚、2020年3月は新型コロナウイルス流行に伴う臨時休館のため、予定していた2回の茶会は中止となった。

[2019年]

第一回講座	4月13日（土） 講師：名見耶明氏「茶席における墨跡」	参加者 115名
第一回茶会	6月1日（土） 席主：不昧流不昧会	参加者 174名
第二回講座	7月27日（土） 講師：石塚修氏「茶の湯と江戸の文芸」	参加者 104名
第三回講座	9月14日（土） 講師：伊藤嘉章氏「桃山の茶陶」	参加者 95名
第二回茶会	10月12日（土） 席主：大日本茶道学会 会長 田中仙堂 ⇒台風接近に伴う臨時休館により中止	
第三回茶会	12月7日（土） 席主：安藤家御家流茶道香道 家元 安藤綾冠氏	参加者 168名

[2020年]

第四回講座	2月8日（土） 講師：小林祐子氏	参加者 102名
-------	---------------------	----------



「松平不昧のお好み道具

—羊遊齋・漆壺齋を中心に—

- 第四回茶会 3月7日(土)  
 席主：裏千家 戸田即日庵 戸田宗寛氏  
 ⇒中止
- 第二回茶会 3月21日(土)  
 振り替え 席主：茶道宗和流 18代 宇田川宗光氏  
 ⇒中止

(13) 美術品の館外貸出

以下の展覧会および茶会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

- ・「サムライ・ダンディズム 刀と印籠—武士のこだわり」 東京富士美術館  
 会期：4月2日(火)～6月30日(日)
 

50187	桜紅葉山水蒔絵印籠	白井可交齋作	1合		
50157	桐鳳凰蒔絵印籠	山田常嘉	1合		
50175	十二支蒔絵印籠	山田常嘉	1合		
50703	松鷹蒔絵印籠	鈴木兼重	1合		
50186	三河万歳螺鈿印籠	無銘	1合		計5件5点
  
- ・特別展 鎌倉禅林の美「円覚寺の至宝」展 三井記念美術館  
 会期：4月20日(土)～6月23日(日)
 

10183	披錦斎図		1幅		
10594	蘆葉達磨図	如水宗淵筆	1幅		計2件2点
  
- ・企画展「遊びの流儀 遊楽図の系譜」 サントリー美術館  
 会期：6月26日(水)～8月18日(日)
 

10328	誰が袖美人図屏風		6曲1双		
10326	誰が袖図屏風		6曲1双		
10505	三星囲碁図	朱氏筆	1幅		計3件3点
  
- ・「生誕150年・没後80年記念 原三溪の美術」 横浜美術館  
 会期：7月13日(土)～9月1日(日)
 

10165	重要文化財 江天遠意図	伝周文筆	1幅		
10685	龍虎図	雪村周継筆	6曲1双		計2件3点
  
- ・特別展「室町将軍一戦乱の美の足利十五代一」 九州国立博物館  
 会期：7月13日(土)～9月1日(日)
 

10169	重要文化財 観瀑図	芸阿弥筆	1幅		
50001	重要文化財 花白河蒔絵硯箱		1合		
40091	重要文化財 肩衝茶入	銘 松屋	1口		計3件3点
  
- ・特別展「仙叟宗室・大樋焼・寒雉釜 金沢の茶の湯」 金沢市立中村記念美術館  
 会期：8月31日(土)～10月20日(日)

- 40158 焼締茶碗 銘 武蔵野 本阿弥光甫作 1口 計1件1点
- ・「美濃の茶陶」 サントリー美術館  
会期：9月4日（水）～11月10日（日）
- 40140 重要文化財 鼠志野茶碗 銘 山の端 1口
- 40463 黄瀬戸宝珠香合 1口 計2件2点
- ・特別展「茶の湯の名碗 高麗茶碗」 三井記念美術館  
会期：9月14日（土）～12月1日（日）
- 40271 重要文化財 雨漏茶碗 1口
- 40272 重要美術品 雨漏茶碗 銘 蓑虫 1口 計2件2点
- ・特別展「今日庵文庫所蔵『三冊名物記』にみる茶の湯の名品」 茶道資料館  
会期：10月3日（木）～12月8日（日）
- 40002 瀬戸大海茶入 銘 大鳥大海 1口
- 40020 瀬戸正木手茶入 銘 正木 1口
- 40021 瀬戸凡手茶入 銘 撰屑 1口
- 40022 瀬戸口広手茶入 銘 天筒山 1口
- 40267 重要文化財 堅手茶碗 銘 長崎 1口
- 40422 青磁象嵌花文香炉 銘 老女 1口 計6件6点
- ・「名勝八景一憧れの山水」 出光美術館  
会期：10月5日（土）～11月10日（日）
- 10304 長沢蘆雪筆 赤壁図屏風 6曲1双 計1件2点
- ・特別展「流転100年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美」 京都国立博物館  
会期：10月12日（土）～11月24日（日）
- 10674 柿本人麿像 伝土佐広周筆 1幅
- 10134 重要美術品 藤原兼輔像 1幅
- 00068 詩書切（和漢朗詠集卷下断簡） 伝藤原良経筆 1幅
- 10348 鏡山図 1幅 計4件4点
- ・特別展「美意識のトランジション（過渡期）  
—16～17世紀にかけての東アジアの書画工芸」 五島美術館  
会期：10月26日（土）～12月8日（日）
- 40852 青花花籠文鉢「大明天啓年製」銘 1口 計1件1点
- ・リニューアル3周年記念特別展「仁清 金と銀」 MOA美術館  
会期：11月1日（金）～12月8日（日）
- 41062 重要文化財 色絵山寺図茶壺 野々村仁清作 1口
- 40174 色絵鉄線花文茶碗 野々村仁清作 1口
- 40175 重要美術品 色絵武蔵野茶碗 野々村仁清作 1口
- 40173 色絵結熨斗文茶碗 野々村仁清作 1口

40487	色絵結文香合	野々村仁清作	1合	
40486	色絵ぶりぶり香合	野々村仁清作	1合	
41001	百合形向付	野々村仁清作	5口	
40822	御深井写菊透文深鉢	野々村仁清作	1口	
40083-40090	組茶入	野々村仁清作	8口	
50399	蒔絵藤花猿図提篋筒		1基	計 10 件 21 点

・特別展「江戸のものづくり列伝—ニッポンの美は職人の技と心に宿る」 江戸東京博物館

会期：2020年2月8日（土）～4月5日（日）

80878	群盲評象図鐔	府川一則（二代）作	1枚	計 1 件 1 点
-------	--------	-----------	----	-----------

計 14ヶ所 43件 56点

#### （14）画像の貸出

本年度は、180件の申請を受け、407点の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。その内、貸出し件数の多いものは以下の通りである。

燕子花図 57件、那智瀧図 12件、夏秋溪流図 7件、肩衝茶入銘松屋 5件、鼠志野茶碗銘山の端 5件、花白河蒔絵硯箱 5件。

#### （15）施設の貸与

以下の講演会・茶会等に講堂・茶室等の施設を貸与し、催事への協力を行った。

##### ・講演会他（講堂）

[2019年]	主となる団体など	用途
9月7日	茶の湯文化学会	学会
7月6日	淡交会裏千家関東第一地区東京第五東支部	総会・講演会
7月31日	森厳寺	見学・研修
[2020年]		
2月22日	東洋陶磁学会	研究会
3月19日	ポートランド日本庭園	会議

計 5 件

##### ・茶会（茶室、講堂）

[2019年]	主となる団体または茶会名	用途	人数
4月18日	高島屋友の会	茶会	49名
4月20日	GAILARDAGALANTE	茶会	22名
4月27日	芳心会	茶会	66名
4月28日	中国泡茶道研究会	茶会	13名
5月24, 25日	公益財団法人上田流和風堂	茶会前利用 ・茶会	143名
5月26日	青山学院大学茶道部	茶会	117名
6月9日	喜久和会	茶会	62名
6月21日～23日	三旅人会	茶会	56名

9月10日	表千家不白流	茶会前利用	65名
9月21日	茶道宗和流	茶会	80名
10月20日	茶道宗徧流関東地区	茶会	252名
10月24日	公益財団法人鉄道総合技術研究所	茶会前利用	9名
10月26日	みちトラベルジャパン(株)	茶会	33名
10月27日	(株)青松園	茶会	343名
10月29日	公益財団法人鉄道総合技術研究所	茶会	18名
11月3日	慶應茶道会、三田福茶会	茶会	267名
11月16,17日	表千家不白流	茶会	414名
11月19日	サントリーホールディングス(株) アンバサダープログラム	茶会	30名
11月20日	(株)JTB グローバルマーケティング&トラベル	茶会	14名
11月23日	三千家茶会	茶会	157名
11月24日	大日本茶道協会	茶会	235名
11月27日	なごみの会	茶会	62名
12月8日	小川流煎茶東京支部	茶会	57名
12月15日	日本大学経済学部茶道研究会	茶会	75名
[2020年]			
2月2日	(株)くるり	茶会	123名
2月7日	遠州流茶道	茶会	13名
			計 3,765名

## II 収益事業

### 【事業の概要】

#### 1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTT ドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

### Ⅲ 庶務の概要

#### 1. 役員

2020年3月31日現在

役職名	勤務	氏名	就任年月日 (初就任年月日)	職歴		
				現職名	最終公務員歴・同一業界 関係歴	退職年月日
理事長	非常勤	根津 公一	2018年5月28日 (2012年4月1日)	株式会社東武百貨店 名誉会長	学校教育	なし
常務理事	非常勤	矢野 恵一	2018年5月28日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 常務理事	なし	〃
理事	非常勤	安田 弘	2018年5月28日 (2012年4月1日)	安田不動産株式会社 顧問	なし	〃
〃	非常勤	島尾 新	2018年5月28日 (2012年4月1日)	学習院大学 教授	学校教育	〃
〃	非常勤	渡邊 喜雄	2018年5月28日 (2014年5月30日)	株式会社カインドウエア 代表取締役会長	なし	〃
〃	非常勤	板倉 聖哲	2018年5月28日 (2014年5月30日)	東京大学東洋文化研究所 教授	学校教育	〃
〃	常勤	松原 茂	2018年5月28日 (2014年5月30日)	公益財団法人根津美術館 学芸部長	なし	〃
〃	常勤	柳瀬 茂	2018年5月28日 (2018年5月28日)	公益財団法人根津美術館 管理部長	なし	〃
		8名				
監事	非常勤	後藤 康雄	2016年6月8日 (2012年4月1日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	なし	なし
〃	非常勤	中瀬 雅通	2016年6月8日 (2013年5月29日)	株式会社三陽商会 取締役会長	〃	〃
		2名				

評議員	非常勤	小林 喬	2016年6月8日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 相談役	保険業	なし
〃	非常勤	正田 修	2016年6月8日 (2012年4月1日)	㈱日清製粉グループ本社 名誉会長相談役	なし	〃
〃	非常勤	根津 嘉澄	2016年6月8日 (2012年4月1日)	東武鉄道株式会社 取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	秋山 智史	2016年6月8日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 取締役会長	保険業	〃
〃	非常勤	堀内 光一郎	2016年6月8日 (2012年4月1日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	鉄道業	〃

〃	非常勤	安田 正	2016年6月8日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	〃	〃
〃	非常勤	有馬 朗人	2016年6月8日 (2012年4月1日)	静岡文化芸術大学 理事長	東京大学総長 ・学校教育	1993年 3月31日
〃	非常勤	田村 妙子	2016年6月8日 (2012年4月1日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	なし
〃	非常勤	徳川 義崇	2016年6月8日 (2012年4月1日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	美術館	〃
〃	非常勤	根津 后方子	2016年6月8日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	なし	〃
〃	非常勤	近藤 誠一	2016年6月8日 (2014年3月19日)	近藤文化・外交研究所 代表	文化庁長官	2013年7 月
〃	非常勤	河田 正也	2017年5月24日 (2017年5月24日)	日清紡ホールディングス(株) 代表取締役社長	なし	なし
		12名				

## 2. 職員

2020年3月31日現在

職名	勤務	氏名	就職年月日	担当事務
館長	非常勤	根津 公一	2000年1月4日	総括
学芸部長	常勤	松原 茂	2008年10月1日	日本書画史・学芸部総括
学芸部次長 兼学芸第一課長	常勤	野口 剛	2008年10月1日	近世絵画史・情報管理
学芸第二課長	常勤	本田 諭	2018年4月1日	中世絵画史・環境整備
学芸第一課	常勤	永田 智世	2018年4月1日	漆工史・茶道・学芸庶務
学芸第一課	常勤	下村 奈穂子	2014年9月1日	陶磁史・茶道・学芸庶務
学芸第二課	常勤	福島 洋子	2009年4月1日	墨跡・学芸庶務・図書管理
学芸部 特別学芸員	常勤	白原 由起子	2008年10月1日	仏教美術史
学芸部次長 [広報担当]	常勤	所 純子	2012年12月1日	広報全般
学芸部広報課長	常勤	村岡 香代子	2013年1月1日	広報
学芸部広報課	常勤	荒川 麻美子	2009年4月1日	ショップ・画像管理
管理部長	常勤	柳 瀬 茂	2018年1月1日	管理部総括
管理部次長	常勤	鈴木 康生	2001年4月11日	設備管理・顧客サービス
管理部次長	常勤	藤江 暁	2019年10月1日	設備管理・顧客サービス
管理部	常勤	田中 智子	1990年9月1日	総務

管理部	常勤	松井麻美	2009年4月1日	顧客
管理部	常勤	須田瑛生	2014年3月1日	総務・会計・茶道
管理部	常勤	高室修	1975年3月1日	施設管理
		職員18名	他に臨時職員25名	

顧問	非常勤	矢野恵一	2012年12月1日	全般
顧問	常勤	西田宏子	2014年6月1日	学芸部
顧問	非常勤	波多野定治	2018年5月28日	全般
顧問	非常勤	宇田川真紀雄	2016年4月1日	全般
		顧問4名		

### 3. 役員会

#### (1) 理事会

開催日 2019年5月8日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

#### ① 第1号議案 2018年度事業報告の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

#### ② 第2号議案 2018年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

#### ① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

#### ② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

#### ③ 2020年度以降の展示検討の件

松原学芸部長より、2020年度以降の展示について展示検討会の報告があった。

#### ④ 次回理事会日程の件

根津理事長より、次回の理事会は2019年11月6日(水)17時を予定している旨、報告があった。

#### ⑤ 根津坂擁壁修繕検討の件

柳瀬管理部長より、根津坂擁壁の修繕計画について報告があった。清水建設㈱より3案の提出を受けており、堅牢性、価格及び工事期間中の通行支障の面等を考慮し、港区と密接にコミュニケーションを取りつつ、引き続き検討を行っていききたい旨報告があった。

開催日 2019年11月6日(水)

場 所 根津美術館 地下1階講堂

報告事項

① 2020年度展示スケジュールの件

松原学芸部長より、2020年度以降の展示スケジュールについて説明があった。

同年度は東京オリンピック開催年となることから、来館者の急増がみこまれることもあるため、渡邊理事より、より一層のセキュリティの徹底が必要との意見が出された。

また中瀬監事より、外国人向けの呈茶イベントをおこなってはどうかとの意見が出された。

② 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

③ 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

④ 2019年度展覧会入館者状況の件

根津理事長より、今年度の展覧会入場者数の趨勢について、年間の7展覧会のうち、4展覧会が終了した時点で計画比145%と好調に推移している旨の報告があった。

また、10月22日即位令正殿の儀の関係で、延べ9か国から随員含め76名の海外要人が来館された旨の報告があった。

開催日 2020年3月4日(水)

場 所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

① 第1号議案 2020年度事業計画の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 2020年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

③ 第3号議案 育児・介護休業規程改訂の件

事務局より、同案についての内容説明があった。審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。



② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

③ 新型コロナウイルス流行に対する根津美術館の対応の件

根津理事長より、新型コロナウイルス流行に対する根津美術館の対応について報告があった。館では2月29日より3月16日までを臨時休館期間とし、営業を停止しており、3月17日以降については情勢をみながら対応を検討していく予定であること、また職員の安全の観点から、通勤途上の感染リスク等を考え、臨時休館期間中は出勤者数を絞り込み、更に在宅勤務も適宜実施している旨の報告があった。

また事務局からは国内の他の美術館の開館状況について、更に板倉理事からは諸外国とりわけ台湾および中華人民共和国の美術館の開館状況について現状報告が行われ、意見交換を行った。

④ 次回理事会日程の件

根津理事長より、次回の評議員会は2020年5月13日（水）12時30分より予定している旨、報告があった。

(2) 評議員会

開催日 2019年5月22日（月）

場 所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

① 第1号議案 2018年度事業報告の件

根津理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 2018年度正味財産増減決算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

報告事項

① 次回評議員会日程の件

根津議長より、次回の評議員会は2020年3月18日（水）を予定している旨、報告があった。

開催日 2020年3月18日（水）

場 所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

① 第1号議案 2020年度事業計画の件

根津理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 2020年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

③ 第3号議案 育児・介護休業規程改訂の件

事務局より、同案についての内容説明があった。審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

報告事項の内容

① 新型コロナウイルス関連の件

事務局より、新型コロナウイルス流行を鑑み、2月29日より3月29日まで臨時休館を予定しており、その間、臨時休館終了後に来館者にとって安全な環境構築を行っているほか、職員の在宅勤務ならびに時差出勤を可能にするなどして、館内感染の予防に向けて対策を行っている旨の報告があった。

② 次回評議員会日程の件

根津議長より、次回の評議員会は2020年5月27日（水）を予定している旨、報告があった。

## IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。